

平成30年度 全国体力・運動能力、運動習慣等調査における

北九州市立 今町 小学校の結果分析と今後の取組について

スポーツ庁による「全国体力・運動能力、運動習慣等調査」について、平成30年6～7月に、5年生を対象として、「体力・運動能力」と「運動習慣等」についての調査を実施いたしました。

この度、本年度の調査結果を分析し、今後の取組についてまとめましたので、お知らせいたします。

本結果は、学校の現状を知っていただくとともに、ご家庭での取組の参考にしていただきたいと思います。また、運動習慣については、学校のみでなく、家庭で運動を一緒に「する・みる・話す」ことが大切です。本校では、運動習慣の確立と授業の充実により、総合的に体力の向上を目指しています。ご家庭でも運動習慣の確立に向けた取組の充実をお願いします。

※本調査により測定できるのは、体力・運動能力の特定の一部です。

1. 調査の目的

- (1) 子どもの体力等の状況に鑑み、国が全国的な子どもの体力の状況把握・分析することにより、子どもの体力の向上に係る施策の成果と課題を検証し、その改善を図る。
- (2) 各教育委員会、各公立学校が全国的な状況との関係において自らの子どもの体力の向上に係る施策の成果と課題を把握し、その改善を図るとともに、そのような取組を通じて、子どもの体力の向上に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。
- (3) 各公立学校が各児童の体力や運動習慣、生活習慣等を把握し、学校における体育・健康に関する指導などの改善に役立てる。

2. 調査内容

(1) 実技に関する調査

[8種目] 握力、上体起こし、長座体前屈、反復横とび、20mシャトルラン、50m走、立ち幅とび、ソフトボール投げ

(2) 質問紙調査

運動習慣、生活習慣等に関する質問紙調査

※ 本校の5年生は、単学級ですので、個人が特定されるような公表の方法については、配慮しています。

3. 体力・運動能力に関する調査結果の概要

全国・本市の実技調査の結果

<男子>

本年度の結果	握力	上体起こし	長座体前屈	反復横とび	20mシャトルラン	50m走	立ち幅とび	ソフトボール投げ	体力合計点
全国	16.54	19.95	33.31	42.10	52.15	9.37	152.24	22.15	54.21
本市	16.69	20.49	33.79	42.59	55.22	9.38	154.29	23.74	55.23

<女子>

本年度の結果	握力	上体起こし	長座体前屈	反復横とび	20mシャトルラン	50m走	立ち幅とび	ソフトボール投げ	体力合計点
全国	16.15	18.96	37.62	40.32	41.88	9.60	145.94	13.77	55.90
本市	16.24	19.41	37.96	40.62	44.39	9.61	147.43	13.93	56.64

4. 運動習慣や生活習慣等に関する質問紙調査結果の概要

質問紙調査の結果分析
<ul style="list-style-type: none"> ・男子児童においては、入学前から運動が好きな子が多く、小学校に入ってからさらに運動やスポーツをすることにに対して意欲が高まっている。 ・女子児童においては、運動やスポーツを行うことが大切であるという意識が高く、中学校に進学後も運動やスポーツをする時間を持ちたいと思っている児童の割合が高い。 ・朝食を毎日食べる児童の割合が、低い傾向にある。 ・一日の睡眠時間について、10時間以上と6時間未満の割合が高く、2極化の傾向にある。また、テレビやゲームを見たり行ったりする時間が一日あたり4時間以上と回答している割合がとても多い。睡眠時間との関連性も大いにあることから改善していく必要がある。 ・運動部や地域のスポーツクラブに入っている児童が少ないが、友達や家族と自主的に体を動かす機会を設けている子が多い。 ・生涯を健康に過ごすには、運動（スポーツ）が大切であると考えている児童の割合が高い。 ・体育科の学習において「めあて」を示すことで、児童が一時間の学習の見通しをもち意欲的に活動をすることができていた。しかし、学習の「振り返り」や「できるようになったこと」を確認する時間が十分確保できておらず課題である。さらに、友達と助け合いながら自分の課題を解決し、『運動する楽しさ』や『できるようになった喜び』を味わわせるような活動を多く取り入れた授業を行っていく必要がある。

5. 調査結果から明らかになった、課題解決のための重点的な取組

① 教科(授業)に関する取組(全校で・学年で・学級で)

<ul style="list-style-type: none"> ・授業中のジャンプアップ運動や、全校でのたてわり大縄跳びの活動を年間を通して継続的に実施する。 ・全ての児童にとって楽しい体育科の学習にするために、教具の工夫や、運動環境の整備を行い、一人一人が自分の課題解決に取り組めるようにする。 ・各領域ごとの学習する時期を全校で揃えるためのカリキュラム編成の工夫をする。

② 運動習慣等に関する取組(1校1取組)

<ul style="list-style-type: none"> ・「家庭生活がんばりカード」の年間を通じた取組。また、結果を家庭へ知らせるとともに、改善したい項目を学校全体で共通して取り組む。 ・スポーツテスト前に、中学校の先生に指導していただいたり、地域の大学生に協力してもらったりして、全校一斉でスポーツテストに取り組む期間を設ける。また、結果に基づいて、がんばった児童を全校で称賛する機会をつくる。
